

# 薩摩青雲丸

高校 薩摩青雲丸 鹿兒島水産  
第一次航海 指導教官

# 洋上の『動く教室』

## 沿岸航法の習得～実践編～

本船は六月二十日横浜に入港し、本日現在、新港ふ頭五号岸壁に接岸停泊中です。明日二十三日午前九時には予定どおり、高松向け出港します。

### 航路航行実習

六月十三日に枕崎港を出港後、翌日には海上交通の難所としても知られる「関門海峡」を航行しました。今回は夜間航法の習得を目的に時間調整して二十時に航路IN。実習生は船橋から潮流信号や他船の灯火を確認しな



事故現場で献花と黙祷を捧げる実習生 六月十五日

緊張の面持ちで舵輪を握る自海洋技術科2年立石君と指導に当たる船長 六月十八日



がら、船長の指導のもと、慎重に操船していました。翌日には「来島海峡」を航行。鳴門海峡・関門海峡と並び日本三大急潮に数えられる難所ということで、実習生は緊張した面持ちで舵輪を手にかけていました。十六日には愛媛県の今治港

に入港し給水を済ませ、十八日に横浜向け出港しました。今治出港後は引き続き、「備讃瀬戸」や「明石海峡」といった主要航路の航行を実体験しながら北上し、二十日には世界有数の海上交通過密海域である東京湾内の航路で航行実習を実施後横浜港へ入港しました。



横浜停泊中の本船より臨む夜景をバックに 六月二十一日

## 「白虎」衝突沈没事故慰霊 海に生きる者として

令和三年五月二十七日、来島海峡で日本の貨物船「白虎」と、韓国のケミカルタンカー「ULSAN PIONEER」が衝突。白虎は転覆後、沈没した。白虎の乗組員十二人のうち九名が救助されたが船長、一等機関士、二等機関士の三名が亡くなった。大型船が衝突からわずか三時間弱で沈没したことに加え、現場海域が国内有数の難所であったことから大きな衝撃を与えた。二等機関士は本校卒業生で享年二十二歳。命を落とした先輩に、後輩として、海に生きる者として哀悼の誠を捧げた。

## ニューフェイス 新乗組員の紹介

生徒食堂で六分儀の取り扱いについて講義中 六月十五日



地村敦志(ちむらあつし) 三等航海士 23歳 愛称「ちむ」

趣味▼メダカの飼育と水族館巡り▼経歴▼本校専攻科修了後、船舶会社(セメント運搬船)に就職▼自身の勤務経験を後輩達に還元したいと本船に転職▼穏やかでマイペース過ぎる? 性格。「まだ経験が浅く、日々修行中です」と語る笑顔がフレッシュ。童顔のためか保護者に生徒と間違えられることも

### 自主研修

沿岸航海実習で実習生が楽しみにしているのが、各寄港地での自主研修です。窮屈な船上実習から解放される束の間のひと時を、思い思いに過ごし



横浜中華街を散策中の海洋技術科1年生 六月二十一日

### 指導教官の目

沿岸航海実習も前半を折り返し、いよいよ終盤へ差し掛かります。日々食欲に知識や技術を吸収しようと奮闘している実習生の姿が印象的です。横浜出港後は、前半とは逆方向から各主要航路を航行し、多様な航法技術の習得を目指します。実習生一同変わりなく元気です